



山下芳生 日本共産党 参議院議員

革新・愛知の会 2013年世話人会

安倍政権の暴走とどうたたかうか～革新懇の役割は

いつそう自共対決が鮮明に

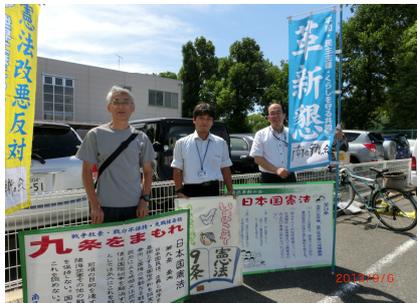
今年5月の全国革新懇総会で代表世話人に選ばれた日本共産党の山下芳生参議院議員が、「安倍政権の暴走とどうたたかうか」革新懇の役割は」と題して、記念講演を行いました。

大いに勇気がわく

山下氏は、参議院選挙の結果、自共対決がよりいつそう明らかになり、日本共産党の役割と重みがいつそう重要になっていること。「来年4月からの消費税増税中止」の一点での共同を呼びかけ、憲法問題でも共同を広げる活動を旺盛に展開している。国会内と国会外の運動を大きく盛り上げ、安倍政権の暴走と対峙して大いに運動を進めようと話されました。また、草の根で平和、民主、革新の日本をめざして取り組んでいる革新懇の役割は重要であること、大いに力を合わせて頑張りましょう、と話されました。

東西南北

南区革新の会は、9月6日(金)朝11時から「憲法9条を守ろう」



ヤマダイ前で宣伝(南区革新の会)

出したがるの?」など疑問が出されていました。そして「9条は守らないかん」という多数の声があがりました。

原発なくせ、浜岡は廃炉せよと宣伝行動に25名が参加

革新岡崎の会

9月度の11行動が、まだまだ残暑厳しいなかで行われ、参加した25名の人たちは、心をこめて訴え、三味線の伴奏に合わせ「原発なくせ、浜岡は廃炉せよ」と力いっぱい声をあげました。集会の前を通り過ぎる車の中から、手を振る人たちもいて、参加者一同、最後まで元気よく訴え続けました。

8月28日、各会派を訪問し、紹介議員要請を行なった。「原子力発電所の再稼働を行わず直ちに原発ゼロへ、自然エネルギーへの転換を進める政策を求める」意見書の提出を求める請願審議が、9月11日午後、岡崎市議会総務企画委員会でおこ

なわれ、自民清風会、民生クラブ、公明党、黎明の各会派は、「いずれは原発はゼロ」、「自然エネルギーへの転換」を言いながら、「ただちに」との意見書は「控えたい」と、不採択に手を挙げました。紹介議員になっていただいた日本共産党鈴木まさ子議員が、「原子力規制委員会の示す「新基準」のずさんさを、指摘し、オリンピック招致での安倍首相「コントロール」も取り上げ、鋭く切り込んでいただきました。大震災から2年半が過ぎ、いまだに29万人もの被災者が、仮設住宅などでの避難生活を強いられているのに、安倍首相のIOC総会での「汚染水はコントロールされている」など全く事実と反する発言には、多くの人が抗議の声があがりました。10月の11行動には、更に多くの人たちの参加で、中部電力に浜岡原発廃炉を求めていきましよう。(革新・岡崎の会9月号「ニュースより」)

宣伝署名行動を南区北頭のスーパー「ヤマダイ」前で実施しました。参加者は4名、署名数は16名分でした。振り返りの暑さの中、「安倍自民党の憲法9条を変えようとする動きや集団的自衛権行使解禁への危険性」を呼びかけたところ、バイクや自転車を止めて「署口します」と積極的に応じてくれたのが印象的でした。「どつとして安倍さんはあんなに自衛隊を海外に

「沖縄・オスプレイの実態と安保基地問題」学習

春日井革新懇

9月1日(日)グリーンパレス春日井で、第17回小牧平和県民集会学習交流会が行われ、92人が参加しました。

松元剛氏(琉球新報編集局次長)が「沖縄・オスプレイの実態と安保基地問題」をテーマに講演を行いました。

松元氏は、「民主国家日本というが『ただし、沖縄を除く』が現実で、私は『危ないものはアメリカに返すべ



9・1 松元剛さんの講演

移設の賛成も多いと思えるような」報道をしています。

また、日米協議で防衛省幹部が「米政府に県外移設検討すると伝達」など裏話も語られ、オスプレイ配備では「すべての自治体首長、議長が反対を表明し、

「沖縄は基地がない方が発展する」と経済界も変化している」「基地のない平和な沖縄・日本を築くため、みなさんと連携して運動を盛り上げましょう」と訴えました。(春日井革新懇ニュース237号より)

「TPPでどうなる私たちの暮らし！」学習会開催します。

緑平民懇

TPPで私たちの暮らしはどうなっていくのか。主権者である国民や国民の代表である国会にも交渉内容が秘

匿されています。TPP参加反対の声を今こそ強く大きくするため、講師に本多正一さん(農林運動愛知県連合会事務局長)を迎えて9月29日(日)午前に学習会を開きました。

また、原発なくそう緑区実行委員会主催10月13日(日)に要池公園でトーク集会、ウオークも行います。(緑平民懇9月号ニュース)

消費税増税反対の緊急署名行動

天白区革新懇

安倍首相が消費税増税と社会保障改悪の強行をねらう中、天白区革新懇は24日、地下鉄原駅で消費税増税の中

止を求めて緊急に宣伝と署名行動に取り組みました。

可知代表をはじめ新婦人、年金者組合、昭天瑞民商、日本共産党から14名の参加。それぞれの代表がマイクを握り、新婦人の代表は「大儲けをして

いる大企業には減税し、所得が低い人ほど負担の重い増税をするのはまったく道理がない」、市民商の代表は「税率を引き上げられたら価格に転嫁できず自腹を切らざるを得ない、営業

を続けることはできない」など切実に訴えました。

約1時間半の取り組みでチラシ100枚以上が受け取られ、高校生や年金者の方たちから多数の署名が寄せられました。

引き続き、消費税率を引き上げを中止する運動を一層広げるために10月12日に消費税をなくす会の「きしの知子事務局長」を講師に学習会を開催します。(杉原保教)

結成!

「暮らしと行政に憲法を生かす運輸の会」

(運輸革新懇) 結成される!

6月21日に、「暮らしと行政に憲法を生かす運輸の会」(略称・運輸革新懇の会)が結成されました。

中部運輸局のOBなど関係者20名です。

国家公務員攻撃や賃金の値下げ、安倍政権の暴走など世の中ほとんど悪くなる、これではいけないと、OBらが中心になり結成にいたったものです。

今後は毎月世話人会を開き、「暮らしと行政に憲法を生かす運輸の会」申し合わせに沿って、国公革新懇なども連携して活動をすすめていきます。



高木徹さん 画

愛高教退職者の会)